

2025年6月 台湾訪問会議録

会議① 6月9日(月) 14:00～16:00 逢甲大学(学思樓 809 号室)

《議題》 高砂電気工業と逢甲大学による共同人材育成に関する協議

【逢甲大学】 8名

何主亮(博士)	材料科学工程系 教授 プラズマ研究所 主任 イノベーションプラットフォーム 主任
謝秉諺(博士)	材料科学工程系 助教授 プラズマ研究所 助教授 先進受動部品研究開発センター 主任 イノベーションプラットフォーム 商業開発 担当
陳瑛鴻(博士)	プラズマ研究所教授 工程科学 助教授 プラズマ研究所 助教授 イノベーションプラットフォーム 商業開発 担当
簡儀欣(博士)	材料科学工程系 助教授 応用複合材料ナノオプトエレクトロニクス研究所長 フォーサイト産業連携開発センター 所長 台中ソフトウェアパーク開発産業・学院・研究連盟副事務局長
劉育成(博士)	電気音響学 助教授 精密システム設計学 助教授 産学連携推進室 学長
謝振中(博士)	電気工学計 教授
魏立儒(博士)	機械工学・コンピューター支援工学 助教授
劉彦淳	フォーサイト産業連携開発センター 電子技術研究センター

【高砂電気工業】 4名

平谷 治之	代表取締役
Adithya Vankatesh	海外事業マネージャー
Qiu Ye	海外技術専門員
平谷 憲俊	ALWAYS(代表取締役)

《高砂電気工業からの逢甲大学への提案》

- ① 逢甲大学発のスタートアップ企業がインドのインキュベーションハブに入居中の約600社に対してワークショップ(イベント)を開催する。
 - ② 逢甲大学において、逢甲大学発のスタートアップ企業が台湾内外の企業及び投資家に対するワークショップ(イベント)を開催する。
 - ③ 高砂電気工業の持つ技術と生産ノウハウを逢甲大学の研究室に連携提供する。
(基本は逢甲大学の教授が学生に対して技術指導をするが、高砂電気工業がフォローする⇒『出張型インターンシップ』)
- 【注】** 逢甲大学と高砂電気工業との間において、信頼関係構築が前提となる中長期的な提案(高砂電気工業は継続的且つ発展的連携を希望する。)
- ④ 高砂電気工業は『日本企業に就職を希望する、或いは日本企業に関心のある』逢甲大学の学生に対してリクルートセミナーを逢甲大学で開催したい。

《リクルートセミナーの内容(案)》

- (1)「経営者 平谷 治之」としての視点から日本企業の現状をレクチャーする。
 - (2)「バルブ・ポンプの開発と研究」に関する経験談を「技術者 平谷 治之」として講義する。
 - (3) 高砂電気工業の会社説明を行う
 - (4) 接触を希望するすべての学生に対して、個に別面談を実施する。
(午前中:講演、午後:個別面談)
- 【注】** 高砂電気工業としては、この時に即時採用(内定)しても良い。

《合意事項》

- 合意事項(1) 提案①②③は既存の産学連携案件との整合性もあり、逢甲大学内外において調整が必要となることから慎重に検討する。(何教授個人としては賛成の意思表示を表明)
- 合意事項(2) 高砂電気工業と逢甲大学が新たに共同研究グループを創設する。
・即日 連絡先のLINEのグループ開設(言語は原則として中国語)
- 合意事項(3) 提案④の学生に対するリクルートセミナーの開催を合意
・開催に向けた具体的実務協議を開始する。
- 合意事項(4) 何教授から平谷 治之に対して逢甲大学客員教授の就任要請。平谷 治之が受諾。(2025年9月就任予定)

会議② 6月10日(火) 10:00～12:00 逢甲大学(学思樓 809 号室)

《テーマ》 高砂電気工業と I T R I による日台協業に関する協議

【台湾工業技術研究院：I T R I】 3名

王鼎翔(博士) 先端機能性コーティング&アプリケーション部門副部長
胡憲霖(博士) 材料化学研究所 研究員
楊其潤 材料化学研究所 研究員

【逢甲大学】 6名

何主亮(博士) 省 略
謝秉諺(博士) 省 略
陳瑛鴻(博士) 省 略
劉育成(博士) 省 略
簡儀欣(博士) 省 略
河合 良信(博士) 九州大学名誉教授

【高砂電気工業】 4名

平谷 治之 省 略
Adithya Vankatesh 省 略
Qiu Ye 省 略
平谷 憲俊 省 略

《協議・合意事項》

1) 高砂から I T R I への提案

- ① 高砂及び I T R I 双方のレベルアップに向けた継続的技術交流（ミーティング）を開催したい。
- ② 世界各国からハイレベルな試作依頼を受ける中で、その質と量は高砂電気工業の許容量に限界に近い。よって高砂から I T R I に試作依頼をしたい。
- ③ 平谷 治之&平谷 憲俊個人のネットワーク上に存在する日本の中小企業を台湾の中小企業とコラボレーションさせたい。

2) I T R I から高砂への提案(質問)

- ① 地政学的課題から国産飛行機の開発を検討しているが対応は可能か？
回答 直接的な殺人目的に該当しなければ法的制限の対象外であり、原則として共同開発は可能である。
- ② 台湾と日本の中小企業連携に関する I T R I からの連絡窓口は高砂で良いか？
回答 問題なし。

※本日の各協議事項について出席者レベルでは大筋で合意する。但し、I T R I 側の出席担当者の職務権限外(担当分野外)と推察される部分も含まれることから、連携方法などの詳細について引き続き協議する。

会議③ 6月10日(火) 14:00～16:00 逢甲大学(学思樓 809 号室)

《テーマ》 高砂電気工業と台湾流体動力協会による日台協業に関する協議

【台湾流体動力協会：TFPA】 3名

黄威仁	台湾流体動力協会会長
許麗玲	台湾流体動力協会事務局長
陳耀津	台湾流体動力協会シニアコンサルタント

【逢甲大学】 6名

何主亮(博士)	省 略
謝秉諺(博士)	省 略
陳瑛鴻(博士)	省 略
劉育成(博士)	省 略
簡儀欣(博士)	省 略
河合 良信(博士)	九州大学名誉教授

【高砂電気工業】 3名

平谷 治之	省 略
Qiu Ye	省 略
平谷 憲俊	省 略

《協議・合意事項》

1) TFPAから高砂への質問

TFPA会員企業(法人約200社)の技術的相談(試作)を受けられるか。

回答 たとえ1品からでも顧客の要望に応えるというカスタマーゼイションが高砂の基本方針であるが、現在は世界約50カ国に点在する研究機関や企業からのオファーが毎日途絶えることが無く、単発的な依頼にすべて対応することは物理的に限界がある。よって、TFPAが取り纏める形であれば対応は可能と思う。

2) 高砂からTFPAへの提案

高砂の今後は逢甲大学やITRIとの接触が増加するので、高砂チームが台湾入りする機会も増加する。高砂チームの台湾入りに合わせて、TFPAが会員向け『技術セミナー&個別相談会』等のイベントを開催する際には講師派遣などについて協力出来る。

※TFPA自体は、会員企業に対する情報提供や業務サポートを主たる活動としている為、試作依頼や技術相談等はそれを希望する個別企業と高砂との相対取引となる。この為技術レベルが一定以上でなければ、高砂の技術＝付加価値を、実際に試作依頼まで辿り着く案件は現在のところ未知数である。

以 上